

第3章 公害の現況と対策 II 水質

(1) 環境基準

ア 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
トリス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下

項目	基準値
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
チウラム	0.006mg/L以下
シマジン	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

備考

- (i) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- (ii) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- (iii) 六価クロムは令和4年4月1日施行の環境基準。

イ 生活環境の保全に関する環境基準<河川> (湖沼を除く)

(7)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
A A	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	20 CFU/100mL以下
A	水道2級 水産1級水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300 CFU/100mL以下
B	水道3級 水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	1,000 CFU/100mL以下
C	水産3級 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級 農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L以上	—

大腸菌数は令和4年4月1日施行

備考

- (i) 水素イオン濃度 (pH) …溶液の酸性、アルカリ性を示す尺度。7が中性で、0に近づくほど酸性が強く、14に近づくほどアルカリ性が強い。
 生物化学的酸素要求量 (BOD) …水の汚れを示す指標。高いほど汚れが大きい。
 浮遊物質 (SS) …水中で浮遊している固形物質。高いほど汚れが大きい。
 溶存酸素量 (DO) …水中に溶け込んでいる酸素の量。一般に汚れが大きいと値が小さくなる。
- (ii) 基準値は、日間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。
- (iii) 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする (湖沼もこれに準ずる)。

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水道1級…ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級…沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級…前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- (iii) 水産1級…ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 水産2級…サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物及び水産3級の水産生物用
 水産3級…コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
- (iv) 工業用水1級…沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 工業用水2級…薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 工業用水3級…特殊の浄水操作を行うもの
- (v) 環境保全…国民の日常生活 (沿岸の遊歩等を含む。) において不快感を生じない限度

(イ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

平成15年(2003年)11月5日付け環境省告示第123号により追加

備考

- (i) 基準値は、年間平均値とする (湖沼、海域もこれに準ずる)。

(ウ)

環境基準	
滑川・神戸川 (B 類型)	3mg/L以下 (生物化学的酸素要求量 (BOD) 75%水質値)
境川水域 (D 類型)	8mg/L以下 (生物化学的酸素要求量 (BOD) 75%水質値)

平成30年(2018年)6月29日付け神奈川県告示第328号により滑川はB類型 (直ちに達成)、神戸川はB類型 (5年以内で可及的速やかに達成)、境川水域 (柏尾川合流点より上流の区域に限り、柏尾川は除く。直ちに達成) はD類型となった。

(エ)

水域	類型	達成期間
滑川（全域）	生物B	イ：直ちに達成
神戸川（全域）	生物B	イ：直ちに達成
平成30年(2018年)6月29日付け神奈川県告示第329号による。		

ウ 生活環境の保全に関する環境基準<海域>

(7)

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素 量 (DO)	大腸菌数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
A	水産1級 水浴 自然環境保全及びB以下の欄 に掲げるもの	7.8以上8.3以下	2mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300 CFU/100mL 以下	検出され ないこと。
B	水産2級 工業用水及びCの欄に掲げる もの	7.8以上8.3以下	3mg/L 以下	5mg/L 以上	—	検出され ないこと。
C	環境保全	7.0以上8.3以下	8mg/L 以下	2mg/L 以上	—	—

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水産1級…マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
水産2級…ボラ、ノリ等の水産生物用
- (iii) 環境保全…国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む）において不快感を生じない限度

(イ)

類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄 に掲げるもの (水産2種及び3種を除く)	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げる もの (水産2種及び3種を除く)	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げる もの (水産3種を除く)	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1 mg/L以下	0.09mg/L以下

※基準値は年間平均値とする。

※水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。

用語の説明

- (i) 自然環境保全…自然探勝等の環境保全
- (ii) 水産1種…底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される。
水産2種…一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される。
水産3種…汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される。
- (iii) 生物生息環境保全…年間を通して底生生物が生息できる限度。

(ウ)

類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全 亜 鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L以下	0.001mg/L以下	0.01mg/L以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L以下	0.0007mg/L以下	0.006mg/L以下

平成15年(2003年)11月5日付け環境省告示第123号により追加

備考

- (i) 基準値は、日間平均値とする。

(I)

環境基準	
由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖（全層）（A類型）	2mg/L以下（化学的酸素要求量(COD) 75%水質値）

(2) 河川水質調査

河川水質の状況を把握するため、市内の主要な河川について、令和4年度（2022年度）に4回の水質調査を実施しました。なお、水質の改善がみられ、距離が短い町屋川及び玉縄雨水幹線の調査については平成30年度（2018年度）、梶原川については令和3年度（2021年度）をもって終了しました。そのほか、随時河川パトロールを実施し、河川水質の監視を行っています。

ア 各物質経年変化

(7) 生物化学的酸素要求量（BOD）75%水質値経年変化（単位：mg/L）

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	1.0	1.2	1.2	1.0	0.8	3以下
神戸川	1.0	1.1	1.1	1.0	0.9	3以下
大塚川	1.3	1.4	2.1	1.2	2.0	8以下
新川	1.5	1.1	0.9	—	1.0	8以下
梶原川	0.9	1	0.6	—	—	8以下
山崎川	2.0	2.8	3.7	1.9	1.6	8以下
小袋谷川	1.6	2.2	1.7	1.6	1.8	8以下
砂押川	2.5	4.1	2.0	3.0	2.4	8以下
町屋川	0.9	—	—	—	—	8以下
玉縄雨水幹線	1	—	—	—	—	8以下

(イ) 浮遊物質（SS）年平均値経年変化（単位：mg/L）

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	3	2	1	3	4	25以下
神戸川	3	2	1	3	2	25以下
大塚川	3	2	3	2	5	100以下
新川	13	4	15	2	4	100以下
梶原川	4	2	3	2	—	100以下
山崎川	5	4	6	3	2	100以下
小袋谷川	4	4	3	2	4	100以下
砂押川	5	3	4	4	5	100以下
町屋川	6	—	—	—	—	100以下
玉縄雨水幹線	1	—	—	—	—	100以下

(ウ) 溶存酸素量（DO）年平均値経年変化（単位：mg/L）

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	9.1	9.1	10.1	10.0	9.3	5以上
神戸川	10.3	9.4	9.7	9.7	9.8	5以上
大塚川	7.6	9.1	8.5	8.6	8.0	2以上
新川	11.7	11.7	11.5	12.2	10.2	2以上
梶原川	9.2	9.5	9.4	9.0	—	2以上
山崎川	7.7	8.5	8.5	8.8	8.4	2以上
小袋谷川	9.0	9.9	10.0	10.9	9.7	2以上
砂押川	9.2	11.2	10.7	11.9	10.1	2以上
町屋川	10.2	—	—	—	—	2以上
玉縄雨水幹線	9.1	—	—	—	—	2以上

(エ) 全窒素年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	—
神戸川	1.3	1.2	1.1	1.2	1.1	—
大塚川	2.1	1.9	2.3	—	—	—
新川	1.4	1.1	1.3	—	—	—
梶原川	1.1	1.0	0.8	—	—	—
山崎川	7.1	7.4	6.3	—	—	—
小袋谷川	1.3	1.4	1.2	—	—	—
砂押川	1.7	1.4	1.2	—	—	—
町屋川	1.3	—	—	—	—	—
玉縄雨水幹線	1.7	—	—	—	—	—

令和3年度から市測定の調査は終了しました。

(オ) 陰イオン界面活性剤年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
神戸川	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	—
大塚川	0.04	0.04	—	—	—	—
新川	<0.03	<0.03	—	—	—	—
梶原川	0.03	0.03	—	—	—	—
山崎川	0.03	0.03	—	—	—	—
小袋谷川	0.04	0.06	—	—	—	—
砂押川	0.04	0.06	—	—	—	—
町屋川	<0.03	—	—	—	—	—
玉縄雨水幹線	0.03	—	—	—	—	—

令和2年度から市測定の調査は終了しました。

(カ) 全燐年平均値経年変化 (単位 : mg/L)

河川名	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	環境基準値
滑川	0.3	0.26	0.26	0.24	0.26	—
神戸川	0.13	0.13	0.13	0.13	0.15	—
大塚川	0.19	0.19	0.23	—	—	—
新川	0.18	0.14	0.16	—	—	—
梶原川	0.18	0.15	0.15	—	—	—
山崎川	2.6	2.6	2.9	—	—	—
小袋谷川	0.23	0.33	0.25	—	—	—
砂押川	0.14	0.17	0.12	—	—	—
町屋川	0.34	—	—	—	—	—
玉縄雨水幹線	0.42	—	—	—	—	—

令和3年度から市測定の調査は終了しました。

調査の経緯

・水質の改善がみられた豆腐川、稲瀬川、極楽寺川、音無川、行合川は平成12年度(2000年度)をもって調査終了

・県管理で、県による水質測定を実施している滑川、神戸川は、平成15年度(2003年度)をもって調査終了

令和4年度(2022年度) 河川水質調査結果表

大塚川(調査地点:村山橋)

境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	R4.5.26	R4.8.18	R4.11.9	R5.2.9	-		
採水時間	10:45	10:41	10:46	10:30	-		
天候	曇	雨	晴	曇	-		
気温(°C)	24.8	25.0	18.5	12.1	20.1		観測項目
水温(°C)	19.5	24.5	15.1	10.9	17.5		
外観	-	-	-	-	-		
透視度(cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素(mg/L)	1.3	1.1	1.5	1.5	1.4	○	健康項目
亜硝酸性窒素(mg/L)	<0.05	<0.05	0.15	<0.05	0.08		
水素イオン濃度(pH)	7.9 (23.5°C)	7.8 (25.6°C)	7.09 (21.4°C)	7.8 (16.7°C)	7.9	○	生活環境項目
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)	1.3	4.3	1.1	2.0	2.2	○	
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)	3.4	5.2	2.5	3.1	3.6		
浮遊物質(S S)(mg/L)	3	13	2	3	5	○	
溶存酸素量(D O)(mg/L)	7.1	7.7	8.3	8.9	8.0	○	

・BOD 75%値: 2.0mg/L

・平均値: 定量下限値未満は定量下限値として算出

令和4年度(2022年度) 河川水質調査結果表

新川 (調査地点: 梶原橋)

境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否		
採水月日	R4. 5. 26	R4. 8. 18	R4. 11. 9	R5. 2. 9	-			
採水時間	10:30	10:30	10:30	10:15	-			
天候	曇	雨	晴	曇	-			
気温 (°C)	25.0	25.9	18.1	11.8	20.2		観測項目	
水温 (°C)	21.6	24.1	13.7	10.5	17.5			
外観	-	-	-	-	-			
透視度 (cm)	30+	30+	30+	30+	30+			
臭気	-	-	-	-	-			
硝酸性窒素 (mg/L)	0.76	0.79	0.88	0.83	0.82	○		健康項目
亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
水素イオン濃度 (pH)	8.1 (22.7°C)	7.9 (25.0°C)	8.0 (21.4°C)	8.0 (16.1°C)	8.0	○	生活環境項目	
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	0.9	1.4	1.0	0.5	1.0	○		
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	3.5	3.1	3.1	2.3	3.0			
浮遊物質 (SS) (mg/L)	5	3	6	1	4	○		
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	11.3	8.6	9.9	10.9	10.2	○		

・BOD 75%値: 1.0mg/L

・平均値: 定量下限値未満は定量下限値として算出

令和4年度(2022年度) 河川水質調査結果表

山崎川 (調査地点: 菱電湘南エレクトロニクス(株)裏)

境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否		
採水月日	R4. 5. 26	R4. 8. 18	R4. 11. 9	R5. 2. 9	-			
採水時間	9:30	9:20	9:30	9:15	-			
天候	曇	雨	晴	曇	-			
気温 (°C)	22. 8	26. 8	17. 0	11. 4	19. 5		観測項目	
水温 (°C)	24. 2	29. 0	23. 9	19. 7	24. 2			
外観	-	-	-	-	-			
透視度 (cm)	30+	30+	30+	30+	30+			
臭気	-	-	-	-	-			
硝酸性窒素 (mg/L)	4. 4	3. 7	3. 8	8. 2	5. 0	○		健康項目
亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0. 05	<0. 05	0. 07	0. 07	0. 06			
水素イオン濃度 (pH)	7. 2 (21. 9°C)	7. 1 (23. 1°C)	7. 1 (21. 0°C)	7. 1 (22. 0°C)	7. 1	○	生活環境項目	
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	0. 9	1. 6	1. 0	2. 7	1. 6	○		
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	7. 4	7. 1	7. 9	9. 4	8. 0			
浮遊物質 (SS) (mg/L)	3	1	2	3	2	○		
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	8. 8	8. 5	8. 0	8. 2	8. 4	○		

・ BOD 75%値 : 1. 6mg/L

・ 平均値 : 定量下限値未満は定量下限値として算出

令和4年度(2022年度) 河川水質調査結果表

小袋谷川 (調査地点: 大船橋)

境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否	
採水月日	R4. 5. 26	R4. 8. 18	R4. 11. 9	R5. 2. 9	-		
採水時間	10:10	9:45	10:07	9:55	-		
天候	曇	雨	晴	曇	-		
気温 (°C)	25.6	25.8	21.1	12.1	21.2		観測項目
水温 (°C)	21.2	24.8	14.7	10.2	17.7		
外観	-	-	-	-	-		
透視度 (cm)	30+	30+	30+	30+	30+		
臭気	-	-	-	-	-		
硝酸性窒素 (mg/L)	0.77	0.90	0.85	0.79	0.83	○	
亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.05	<0.05	0.08	<0.05	0.06		
水素イオン濃度 (pH)	8.1 (21.4°C)	8.0 (24.8°C)	8.0 (20.3°C)	8.1 (20.7°C)	8.1	○	生活環境項目
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	1.4	1.6	1.8	1.9	1.7	○	
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	3.4	3.1	4.1	2.9	3.4		
浮遊物質 (SS) (mg/L)	2	1	9	3	4	○	
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	9.5	8.1	9.5	11.5	9.7	○	

・BOD 75%値: 1.8mg/L

・平均値: 定量下限値未満は定量下限値として算出

令和4年度(2022年度) 河川水質調査結果表

砂押川 (調査地点: 笠船橋)

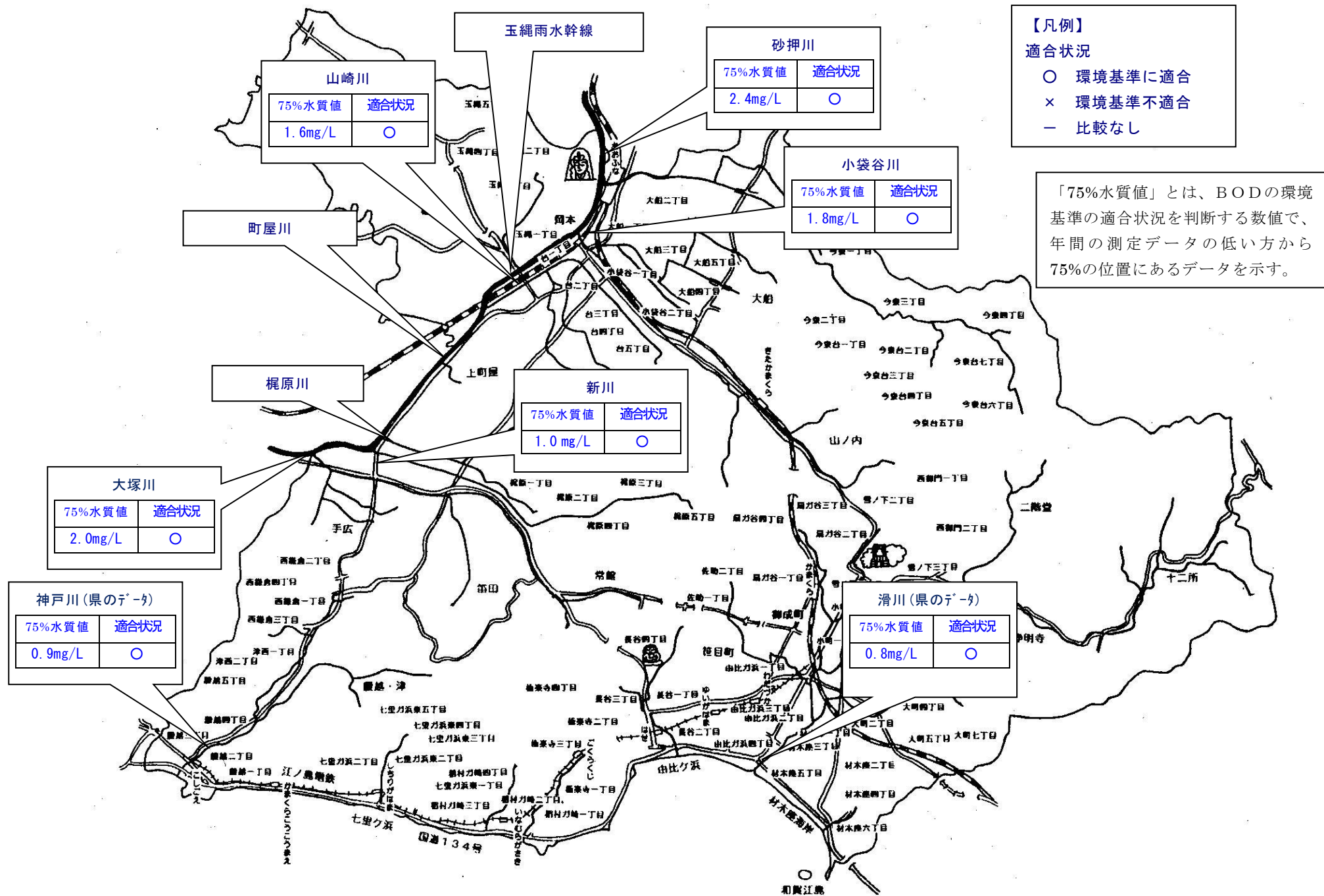
境川流域D類型

項目	第1回	第2回	第3回	第4回	平均値	適否		
採水月日	R4. 5. 26	R4. 8. 18	R4. 11. 9	R5. 2. 9	-			
採水時間	10:00	9:35	9:55	9:42	-			
天候	曇	雨	晴	曇	-			
気温 (°C)	26.0	27.0	17.8	14.3	21.3		観測項目	
水温 (°C)	21.1	24.9	13.2	10.0	17.3			
外観	-	-	-	-	-			
透視度 (cm)	30+	30+	30+	30+	30+			
臭気	-	-	-	-	-			
硝酸性窒素 (mg/L)	0.40	0.67	0.72	0.39	0.55	○		健康項目
亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
水素イオン濃度 (pH)	8.6 (20.7°C)	8.2 (25.1°C)	8.3 (20.1°C)	8.3 (22.3°C)	8.4	○	生活環境項目	
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	2.4	1.5	2.0	4.5	2.6	○		
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	4.0	3.5	3.3	5.4	4.1			
浮遊物質 (SS) (mg/L)	2	1	2	13	5	○		
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	11.0	8.3	10.0	11.2	10.1	○		

・ BOD 75%値 : 2.4mg/L

・ 平均値 : 定量下限値未満は定量下限値として算出

令和4年度(2022年度) 河川水質調査地点図(BOD)



(3) 神奈川県による水質測定結果 (年間平均値、水素イオン濃度は最小・最大)

ア 河川 (滑川・神戸川)

項 目	河 川 名		項 目	河 川 名	
	滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)		滑川 (滑川橋)	神戸川 (神戸橋)
気温 (°C)	16.9	16.7	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002
水温 (°C)	17.3	17.2	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002
透視度 (cm)	98	99	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002
流量 (m ³ /s)	0.293	0.095	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002
水素イオン濃度 (pH)	最小6.8 最大8.5	最小8.0 最大8.6	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	<0.0004	<0.0004
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	0.7	0.8	チウラム (mg/L)	<0.0006	<0.0006
生物化学的酸素要求量 (BOD) (75%値) (mg/L)	0.8	0.9	シマジン (mg/L)	<0.0003	<0.0003
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	3.7	3.8	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	<0.002
化学的酸素要求量 (COD) (75%値) (mg/L)	4.3	4.1	ベンゼン (mg/L)	<0.0002	<0.0002
浮遊物質量 (SS) (mg/L)	4	2	セレン (mg/L)	<0.002	<0.002
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	9.3	9.8	硝酸性窒素 (mg/L)	0.77	0.84
大腸菌数	910	1,700	亜硝酸性窒素 (mg/L)	<0.05	<0.05
n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	<0.5	<0.5	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.8	0.9
全窒素 (mg/L)	1.1	1.1	ふっ素 (mg/L)	---	0.17
全燐 (mg/L)	0.26	0.15	ほう素 (mg/L)	---	0.04
ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	<0.00006	1,4-ジオキサン (mg/L)	<0.005	<0.005
※LAS (mg/L)	0.0020	0.0066	フェノール類 (mg/L)	<0.005	<0.005
カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	銅 (mg/L)	<0.01	<0.01
全シアン (mg/L)	<0.1	<0.1	全亜鉛 (mg/L)	0.004	0.006
鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	溶解性鉄 (mg/L)	<0.02	0.05
六価クロム (mg/L)	<0.02	<0.02	溶解性マンガン (mg/L)	0.01	0.01
砒素 (mg/L)	<0.005	<0.005	総クロム (mg/L)	<0.02	<0.02
総水銀 (mg/L)	<0.0005	<0.0005	磷酸態磷 (mg/L)	0.24	0.13
アルキル水銀 (mg/L)	---	---	アンモニア性窒素 (mg/L)	0.06	0.05
ポリ塩化ビフェニル (PCB) (mg/L)	<0.0005	<0.0005	塩化物イオン (mg/L)	3,783	2,212
ジクロロメタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	陰イオン界面活性剤 (mg/L)	<0.03	<0.03
四塩化炭素 (mg/L)	<0.0002	<0.0002	電気伝導率 (mS/m)	908	356
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	有機燐化合物 (EPN) (mg/L)	<0.0006	<0.0006
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002	ニッケル (mg/L)	<0.008	<0.008
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	<0.0002	<0.0002			

※LAS 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

イ 海域 (由比ヶ浜沖・七里ヶ浜沖)

神奈川県ホームページに「公共用水域及び地下水の水質測定結果(神奈川県水質調査年表)」として公表。